

令和4年度 上島幼稚園 自己評価結果公表シート

1、本園の教育方針・目標

生活体験の中心である「あそび」は心身の調和のとれた発達の基礎を培う学習です。私たちは子どもたちが主体的に遊びを展開し、豊富に様々な体験を積み重ねることを重要に考えています。上島幼稚園は幼稚園教育要領を基に「健康な体」と「豊かな心」を持つ心身ともにバランスのとれた人間としての基礎づくりを目指しています。

- ・健康で明るくたくましい子ども
- ・友だちと仲良く遊べる子ども
- ・心情豊かな子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども

2、本年度の年間目標

年間目標：豊かな発想！豊かな表現！

年少目標：園生活に慣れ、友達や教師と楽しく遊ぶ。

年中目標：教師や友達の思いに触れ合い、意欲的に楽しく表現する。

年長目標：友達と思いを伝えあいながら、協力して遊びや生活を作り出す。

3、評価項目の取組と評価

※自己評価は6項目に分かれ、各項目の設問を教員が解答しています。

※評価期間は本年度4～12月及び前年度1～3月とします。

※自己評価の評価ポイントは各項目及び設問<良い：3・普通：2・不十分：1>の平均ポイントです。評価は最高3点～最低1点で記載しています。

※学校関係者評価のポイントは各項目の取組と自己評価の<良い：3・普通：2・不十分：1>の評価です。評価点は評価委員の平均点です。最高3点～最低1点で記載しています。

項目	取組	自己評価	学校関係者評価	学校関係者意見
保育の計画性	園の教育方針・教育目標・年間目標に基づき、教育課程を編成し、年度当初の職員会議にて、共通理解を行う。期案を作成・反省し、保育・教育の実践に取組んでいる。また、園児一人ひとりの年間の個人目標を教師が設定し、子どもの様々な培いへの援助を促進している。本年度はコロナ禍の中、様々な行事の実施方法を検討し、縮小・変更等を行っている。	2.2	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の大変な日々の中、工夫してくださりと、ありがとうございます。 ・季節の行事が多く、もちつきなど、教養が身につくと思えました。 ・コロナ禍での保育、本当に感謝です。 ・先生方も職員同士の連携を密にして、園児に接して下さっていると思えます。 ・コロナ禍においても、大きな行事を滞りなく開催していただけに素晴らしいと思えます。 ・今後もwithコロナが続きますが、園生活が充実したものになる工夫、検討をお願いします。
保育のあり方 ・ 子どもへの対応	主任者会議、学年会議、職員会議を定期的に行い、教育計画・保育計画を実践する。園児一人ひとりの発達・動向も各会議で報告・検討し、全教員が共通理解のうえ、子どもの実態に合わせた保育・援助を心掛けている。また、特別支援計画を作成し、特別支援児への個別援助（医療機関との連携）を実践している。本年度もコロナ禍の中、特に子ども達の健康状態に留意し、健康チェックカード・手洗い・うがい・消毒等、感染予防に心掛けている。	2.6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合わせた個別援助や支援計画をしっかりと行ってもらい、とても感謝しています。 ・いつも子ども達にあたたかく接していただき、ありがとうございます。安心してお任せできるのは上島幼稚園だからだと思います。 ・コロナ禍の中で色々対応して下さいありがとうございます。 ・保育参観をしていて、年少クラスはもう1人先生が常にいても良いのかなと思えました。 ・園舎の構造上仕方がないとは思いますが、花1組の教室が暗い、寒いと思えました。 ・消毒はいつもしっかりと行ってくれていると思えます。 ・園児、先生の健康に気を使いながらの保育、大変ですが、今後もよろしく願います。
保育者としての能力や良識	園内新任者研修時に就業規則服務規律の研修を実施。また、自己評価により保育者としての能力や良識を各教職員が反省し、自己の見直しによる改善努力を行っている。	2.6	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・県内でも保育者による問題が起きています。保育者同士も心のケアやフォローをしながら、向上心を持っていただきたいと思えます。 ・自己評価による反省点を自己改革や保育に生かし、保育者として更なる向上を期待しています。

保護者への対応	園の様子の発信として、園便り・学年便り・HPの行事画像の更新等を定期的を実施する。また、担任との連絡帳での対応の他、学期毎の個人面談を基本に、保護者の希望により常時面談する機会を設け関わりを深めている。	2.6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・くまさん郵便ももちろんですが。些細なことまで連絡をして下さり、お忙しいのに感謝しています。 ・こまめな連絡帳でのやりとりで、子どもの様子が良くわかり、感謝しています。 ・連絡帳を通して、家では見られない子どもの様子が知れて、とてもありがたいです。 ・手紙や電話等で細かくご連絡下さるのでとても有難いです。心遣いが嬉しいです。 ・細かく様子を教えてくれるので安心して預けられます。 ・卒園児の長期休み時の預かり受け入れ、本当に有難く思っています。 ・子どもの園での様子や変化など、連絡ノートにまめに書いていただいているので、園での様子がよくわかり安心して預けられます。 ・手紙（お便り）以外にも、普段の様子を連絡帳で教えていただけるので、とても様子が分かり有難いです。忙しい中ありがとうございます。 ・細目に園だよりを書いて下さるので、園での様子が良く分かって有難いです。3者面談もいつも楽しみです。
地域の自然や社会との関わり	本年度はコロナ禍の感染予防のため、就学時に向けた小学校との交流は中止となったが、消防署見学・聴覚特別支援学校交流を実施。また、3年ぶりに中学生の体験学習の受入れを行う。地域の保幼小中連絡会にて連携を行う。	1.9	2.5	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校との交流が何とか出来ると良い。 ・コロナに気を付けつつ、少しずつ色々な関りを持つイベントや体験が行われるといいなと思います。 ・普段行けない、消防署見学や起震車の体験が出来ることは貴重だと思います。 ・思うような学習ができないと思いますが、少しでも園児が楽しく過ごせるよう、よろしく願います。 ・今まで中止されていた活動を再開していただけたことは大変評価できます。今後もこのような貴重な体験の機会を大切にしてください。
研修と研究	本年度もコロナ禍での感染防止のため、リモート研修会が主となる。研修人数が限定された浜松市私立幼稚園協会の教員研修会等に申込み、積極的に参加する。夏期に「運動遊び」についての園内研修を行う。	1.8	2.4	<ul style="list-style-type: none"> ・研修があることを知らなかったのもっと保護者に広めても良いと思います。

4、自己評価のまとめ

<反省点・改善点より抜粋>

- ・子どものつぶやきをあまり聞いていないので、もう少し耳をすまして聞けるようにしたい。
- ・後輩指導がとても難しく感じた年だった。分かりやすいように、そして伝わるように今後も試行錯誤しながら努めていきたい。

- ・自己肯定感をしっかりと引き出せるほいくを目指したい。

- ・何事も早め早めに行動出来るようにしたいです。

<教育活動の新しいアイデアより抜粋>

- ・送迎中の防災訓練。

- ・自由遊びデイ以外にバス通園の子ども達がたくさん遊べる日を設けても良いと思いました。

- ・満3歳児に限らず排泄が確立されていない子どもが多いので低年齢児について学んでいく必要があると感じます。

- ・外に出て集団で遊んだり、散策をしたりする時間を増やしていいと思った。

- ・バス北コースの預かりの待ち時間を預かり保育の戸外遊びと一緒にやるようにしたらどうか。

- ・お楽しみ給食は子ども達がとても喜んでいたので回数を増やしてもいいかなと思う。

- ・西館のトイレを乾式トイレにする。大人用のブースにベビーチェアを設置する。

<評価項目について>

・各教員の経験年数や自身への評価の視点により自己評価の違いがうかがえます。上記の改善点やアイデアでは各教員の意見、自己改革等が他にも多く挙げられています。これらの意識を子ども達への保育に向けていきたいと思いません。

5、今後の課題と取組み

課題	取組
保育の計画性について	引き続き、行事や保育計画のコロナ禍での対応を検討し、感染防止対策を十分に行い実施をする。
研修と研究	静岡県私立幼稚園振興協会や浜松市私立幼稚園協会等（リモート研修含む）の各研修・研究に積極的に参加して研鑽を積む。職員会議にて園で起きたヒヤリハットの事例を検証し、日々の保育に生かす。
防災	園の防災体制について毎年繰り返し確認を行い、月毎の職員会議時に行っている防災研修を通し、職員防災意識の更なる向上を目指す。
地域の自然や社会との関わり	徒歩送迎通園の安全対策として、必要に応じ支援体制を整えるようにする。園児の安全確保のため、マニュアルを見直し再確認する。

。